

こころ

2019
春号
Vol.49

～夢と希望と安らぎ、きらめく光に包まれて～



 社会福祉法人 清心会

CONTENTS

- ① 表紙
- ② 活動報告・勉強会
- ③ 初釜・節分・ボランティア
- ④ 介護まめ知識・ほほえみ保育所
- ⑤ 夢の郷DS・GH
- ⑥ 養老ショートステイ
- ⑦ 裏表紙

平成30年度 委員会活動報告

レク・広報委員会

今年度の活動としては清心会最大の行事である夏祭りをはじめとして、多くのレクリエーションを企画しました。昨年度も開催した胃瘻の方を中心としたレクリエーションも開催することができました。

しかし、大きな行事に参加できない入居者様に対するレクリエーションがなかなか出来なかったため、入居者様全員が楽しめるようレクリエーションを企画することが、来年度に向けての課題として残りました。来年度は入居者様・ご家族様・スタッフ等、皆さんが楽しめるレクリエーションを開催していきたいと思います。

レク・広報委員長 清水 光

事故防止・入浴・記録委員会

今年度の活動は、年に3回(6月、9月、3月)のヒヤリ・ハット月間、年に2回(8月、2月)の勉強会、居住環境の見直しを行いました。ヒヤリ・ハット月間は年3回行い、特に新しい職員の事故防止に対する意識付けを目標に取り組みました。結果として昨年度とほぼ変わらないヒヤリ・ハット報告の数になり、各職員個人個人の気が付ける能力に差がでている状態であるため、今後もこの活動は続けていきたいです。

2月の勉強会では具体的な事故対策について学びました。事故を完全に防ぐ対策はありませんが、今後も清心会全体で情報を共有し、少しでも事故が起こる確率を下げたいと思います。入浴委員会では入居者様、そして職員の熱中症防止の対策も委員同士で話し合いをしました(塩飴、水分の常備)。夏の浴室はとても暑く、体力の低下もあるため、入居者様・職員ともに体調には気を付けていきたいと思います。

事故防止・入浴・記録委員長 森 眞

褥瘡対策・感染委員会

今年度の活動として、褥瘡委員会では、褥瘡の現状報告と処置方法の検討等を毎回委員会の中で話し合い、褥瘡予防の為に体位変換等についての勉強会も開催しました。感染委員会では、季節ごとの感染予防に関する勉強会を開催しました。ノロウィルス発生時でもすぐに対応できるような実演も行いました。今年度は、3度外部講師の方による勉強会を行い、褥瘡、感染予防についての知識を深めることが出来たため、今後のケアに役立てて褥瘡・感染ゼロを目指して活動していきたいです。

褥瘡対策・感染委員長 五十川 智子

身体拘束廃止委員会

今年度は、介護報酬制度の改定に伴い「身体拘束廃止未実施減算」の基準についても変更がありました。そのため、今まで以上に委員会での活動が重要となりました。委員会で毎月行っている身体拘束チェックを中心に一人一人が日々のケアを振り返りながら、「入居者が安心して過ごせる施設」を目指して今後も活動していきます。

また施設内勉強会では、「やむを得ず身体拘束を行う場合の対応」、「施設での高齢者虐待や身体拘束について」を2度開催しました。昨今、高齢者施設での虐待のニュースが絶えません。それは介護業界に於いて最も起きてはならないことです。そのような事件を未然に防ぐためにも当委員会が担う役割は大きくなってきていると思います。

身体拘束廃止委員長 品田 直樹



身体拘束廃止委員会による勉強会が行われました。やむを得ず身体拘束を行う場合の対応方法についての勉強会でした。6月～7月に実際に当苑で行った「ミトン拘束」の事例発表もありました。介護保険法上での拘束を行う場合の留意点等を学ぶことができ、また、ミトン、車いすに使用するY字体、つなぎ服の実物の紹介もありわかりやすかったです。身体拘束を行うことはほとんどありませんが、今後も皆で知恵を出し合って拘束をしない介護を提供していきたいです。



看護部門による「看取りケア」の勉強会がありました。特養入居者は90歳以上の高齢者が多く、平均介護度4と重度化傾向がみられています。年間20人～25人の方が看取り介護の末お亡くなりになっています。職員は若いスタッフ、看取り経験のないスタッフが多く不安も大きいです。今回、看護師より看取り期の身体の変化、ケアの基本と対応方法などの講義の後、参加者全員でバイタルサインの測定の基本を再度演習し確認しあいました。



初釜

初釜とは、正月を迎えたことを祝い、新年に初めて釜をかけること。清心苑では、新年最初のレクリエーションとして、1月23日(水)に初釜を開催しました。

入居者様を、着物を着た職員がお出迎えし、職員が点てたお抹茶と、和菓子にておもてなしをしました。入居者様からは、「お抹茶がおいしくて、二杯も飲んじゃったわ。」「初釜の、この雰囲気がいね。新しい年の始まりという感じがいいんだよー。」等、どの入居者様からも笑顔が見られ、とても楽しい時間を過ごされたようでした。



節分



赤鬼・青鬼が各ユニットを回り、入居者様と一緒に鬼退治をしました。真剣な表情で豆を投げる方もいれば、笑顔で楽しんでいた方もいました。今年も皆さんが元気良く過ごせますように。

ボランティア



『嬉しがり屋』

ご夫婦の掛け合いが面白く、参加された入居者様も一緒になって歌い、時には体操も交えながら楽しいひと時を過ごされました。日曜日という事もあり、面会に来ていたご家族様も一緒に参加されている様子も見られました。

『あした葉会』

日本各地の民謡をバックに美しい着物姿で踊りを披露していただきました。入居者様に、日本の伝統文化を楽しんでいただきました。

介護まめ知識



皆さん、介護についてどうお思いでしょうか？体が重くて動かせない…腰が痛い…など、「介護は大変」というイメージではないでしょうか。今私たちは、介護技術スキルアップ研修を受けており、介護技術の再確認、向上に取り組んでいます。無理矢理な介助では、利用者様にも苦痛を与えてしまいます。介護する側、される側も、転倒や怪我などのリスクが大きくなります。そこで今回は腰を痛めず、利用者様にも負担の少ない介護技術を紹介したいと思います。

- ①支持基底面を広くする。
- ②重心を低くする。
- ③利用者の体を小さくまとめる。
- ④進行方向に足先向ける。(重心の移動をスムーズにする。)
- ⑤重心近づける。
- ⑥テコの原理を使う。
- ⑦大きな筋群を使い、水平移動を行う。

介護者だけの力ではなく、介護を受ける方にも協力を得ます。出来る事の指示をし、声を掛け合い、介助を施行します。その際、介護者は利用者様との距離を近づけ、大きな筋群を使い、大きく動きます。出来る事の支援を、自立支援と言います。このように、介護者だけではなく、介護受ける側との一体感により、安全かつ安心な介助が出来ると思います。

①、②



③



④



⑤



⑥



⑦



ほほえみ保育所

11月に植えたチューリップも芽を出し順調に育っています。子ども達も「おおきくなったー♪」と開花を楽しみにしています。

2月4日保育所に鬼が来ました！！初めて見る鬼の姿に子ども達は不安そうな表情で保育者の後ろに隠れたりしていましたが、最後は仲良く一緒に写真を撮りました。



夢の郷DS・GH



夢の郷 農 円

利用者様による提案と投票で畑の名前が【夢の郷農円】に決定！
収穫した野菜は昼食等の一部に使っています。



1月よりスタッフ(有資格者)によるアロマハンドマッサージを実施しています。気持ち良いと大好評！



節分会 鬼登場！



2月の節分の日新聞紙で手作りの豆と鬼の面で豆まきをし、鬼退治をしました。



養老ショートステイ

12月

年末年始はみなさんと楽しく過ごしました。

12月はクリスマス会！利用者様と一緒にケーキのデコレーションをして楽しみました。ささやかですが養老ショートサントタからのプレゼントもあり、利用者様に喜んでもらいました。

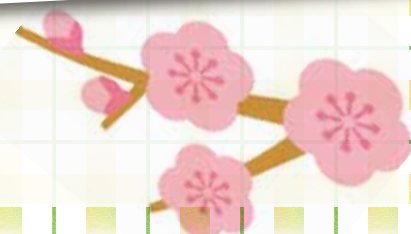
年が明けて1月、初釜の会を開きました。お茶を点て、かわいらしい和菓子と一緒にいつもより華やかなおやつタイムでした。

2月は節分。鬼に扮したスタッフに容赦なくボールを投げ、とても元気な姿を見せていただきました。鬼たちもびっくり退散していきました。

1月



2月



清心会 トピックス



西濃高等特別支援学校にて、「進路講話～卒業生と語る会～」が開催され、清心苑から杉山ちはるさんが講師として招かれました。介護に対する熱い想いを語っていただきました！彼女の今後の目標は、介護福祉士の資格を取得することです！



介護職外国人技能実習生入国後講習を実施しました。今回はミャンマーから来た4名の方が受講しました。介護知識・技術を学ぶだけでなく、レクリエーションに参加する事で、高齢者の方々との接し方などを学んでいただきました。



寄付・寄贈品

ありがとうございます。
大切に使用させていただきます。

馬淵 良雄 様	50万円
國枝 藤枝 様	歩行器

編集後記

広報誌「こころ」をご清覧頂きありがとうございます。もうすぐ平成が終わりますね。編集者は平成生まれなので、元号が変わるというのは、何だか不思議な感覚です。徐々に温かい日も増えてきていますが、季節の変わり目ですので、皆さんにはくれぐれもご自愛ください。

<定期イベント・行事>

- ・地域のボランティア
- ・清心苑のお菓子屋さん
- ・手芸クラブ

ホームページも開設しています。
是非、ご覧下さい。
「大垣市 清心苑」で検索して下さい。

特別養護老人ホーム 清心苑 短期入所生活介護施設 清心苑ショートステイ
〒503-2223 岐阜県大垣市矢道町1丁目303番地
TEL 0584-93-0510(代) FAX 0584-93-0585 フリーダイヤル 0120-35-7510